

利 用 の 前 に

I 利用上の注意

- 1 この資料は、2020年（令和2年）2月1日現在で実施した「2020年農林業センサス」（農林水産省所管）の結果の一部を取りまとめたものです。
- 2 2020年（令和2年）の数値は、全て概数であり、農林水産省が公表する数値を確定値とします。
- 3 各表の数値は四捨五入して計算していますので、統計表の計の数値と一致しない場合があります。
- 4 面積は、単位「アール（a）」で調査しましたが、この資料の統計表によっては単位を「ヘクタール（ha）」で表章しているため、表間の数値が一致していない場合があります。
- 5 統計表の符号は、次のとおりです。

「－」	…	該当数値のないもの	「…」	…	数値が不詳のもの
「△」	…	負数又は減少を示す	「0」	…	数値が単位未満のもの
「X」	…	数値を秘匿したもの			

総客体数が1又は2の場合数値を秘匿、総客体数3以上でも関連する場合は秘匿したもの
- 6 表章の範囲
各年調査日現在の市域での数値となっています。

II 調査の概要

- 調査目的 … 我が国の農林業行政に係る諸施策及び農林業に関して行う諸統計調査に必要な基礎資料を整備する。
- 調査期日 … 2020年（令和2年）2月1日
- 調査系統 … 農林水産省一県一市区町村一指導員一調査員
- 調査対象 … 農林業経営体
- 属人調査 … この調査は属人調査であるため、調査対象である農業及び林業経営体の所在する市区町村で調査しています。したがって、本市に耕地又は山林を有していても、経営体の所在する市区町村において計上されています。

III 用語の説明

- 農林業経営体…… 農林産物の生産を行うか又は委託を受けて農林業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、次の規定のいずれかに該当する事業を行う者をいう。
- (1) 経営耕地面積が30 a以上の規模の農業
 - (2) 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数、その他の事業の規模が次の農林業経営体の基準以上の農業

- ① 露地野菜作付面積 …………… 15 a
 - ② 施設野菜栽培面積 …………… 350 m²
 - ③ 果樹栽培面積 …………… 10 a
 - ④ 露地花き栽培面積 …………… 10 a
 - ⑤ 施設花き栽培面積 …………… 250 m²
 - ⑥ 搾乳牛飼養頭数 …………… 1 頭
 - ⑦ 肥育牛飼養頭数 …………… 1 頭
 - ⑧ 豚飼養頭数 …………… 15 頭
 - ⑨ 採卵鶏飼養羽数 …………… 150 羽
 - ⑩ ブロイラー年間出荷羽数… 1,000 羽
 - ⑪ その他 ……………調査期日前1年間における農業生産物の総販売額50万円に相当する事業の規模
- (3) 権原に基づいて育林又は伐採（立木竹のみを譲り受けてする伐採を除く。）を行うことができる山林の面積が3ha以上の規模の林業（調査実施年を計画期間に含む「森林施業計画」を策定している者又は調査期日前5年間に継続して林業を行い育林又は伐採を実施した者に限る。）
- (4) 農作業の受託の事業
- (5) 委託を受けて行う育林若しくは素材生産又は立木を購入して行う素材生産の事業（ただし、素材生産については、調査期日前1年間に200m³以上の素材を生産した者に限る。）

農業経営体…… 「農林業経営体」の規定のうち（1）、（2）又は（4）のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

林業経営体…… 「農林業経営体」の規定のうち（3）又は（5）のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

農家…… 調査期日現在で、経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯又は経営耕地面積が10a未満であっても、調査期日前1年間の農産物販売金額が15万円以上あった世帯をいう。

販売農家…… 経営耕地面積が30a以上又は調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

自給的農家…… 経営耕地面積が30a未満かつ調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家をいう。

2020年農林業センサス 集計結果

福山市の概要

1 農林業経営体数

2020年(令和2年)2月1日現在の農林業経営体数は1,394経営体でした。前回調査(2015年農林業センサス)に比べ27.1%減少しています。

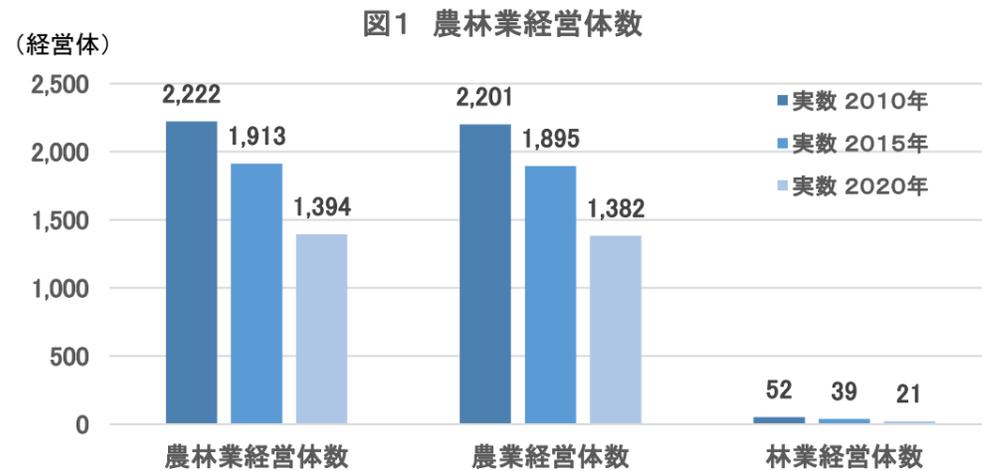
農業経営体数は1,382経営体で前回調査に比べ27.1%減少し、林業経営体は21経営体で前回調査に比べ46.2%減少しました。

表1 農林業経営体数

単位: 経営体, %

区分		農林業経営体数	農業経営体数	林業経営体数
実数	2010年	2,222	2,201	52
	2015年	1,913	1,895	39
	2020年	1,394	1,382	21
増減率	前回比	△ 27.1	△ 27.1	△ 46.2
	前々回比	△ 37.3	△ 37.2	△ 59.6

(注) 農業経営と林業経営を合わせて営んでいる経営体は、農業経営体と林業経営体にそれぞれ含まれるため、農業経営体数と林業経営体数の合計と農林業経営体数は一致しません。
各年調査日現在の市域での数値です。



2 農業経営体

経営耕地面積規模別経営体数

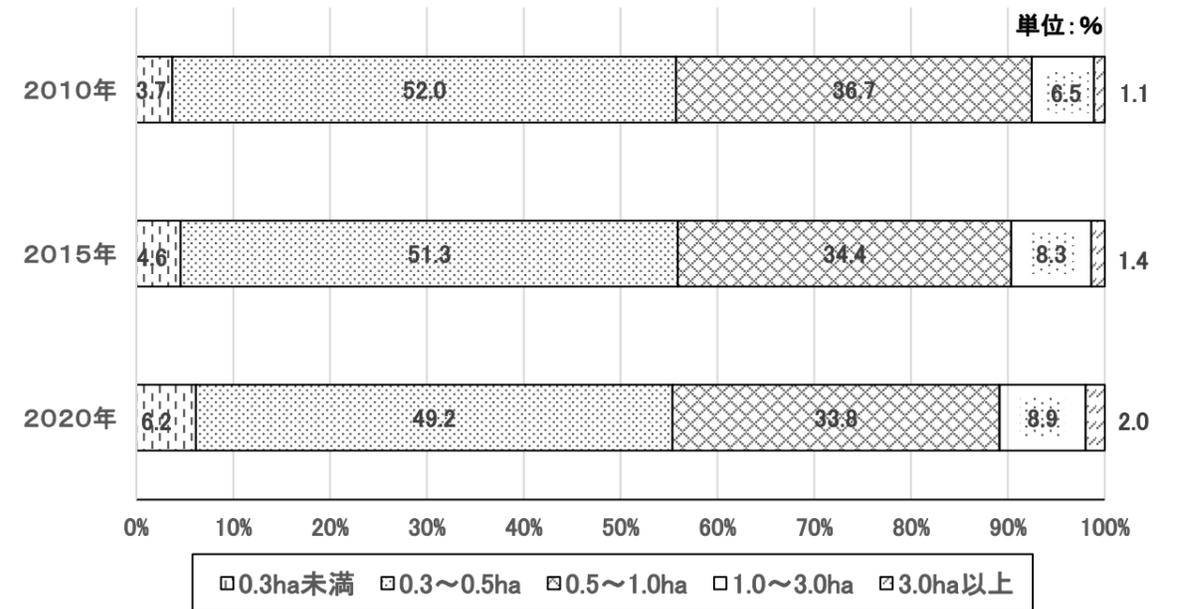
農業経営体を経営耕地面積規模別にみると、「0.3~0.5ha未満」の農業経営体が680経営体(構成比49.2%)で最も多く、次いで「0.5~1.0ha未満」が467経営体(構成比33.8%)となっており、合わせると農業経営体全体の83.0%を占めています。

表2 経営耕地面積規模別経営体数

単位: 経営体, %

区分		計	0.3ha未満	0.3~0.5	0.5~1.0	1.0~3.0	3.0ha以上
実数	2010年	2,201	82	1,145	808	142	24
	2015年	1,895	87	973	652	157	26
	2020年	1,382	85	680	467	123	27
増減率	前回比	△ 27.1	△ 2.3	△ 30.1	△ 28.4	△ 21.7	3.8
	前々回比	△ 37.2	3.7	△ 40.6	△ 42.2	△ 13.4	12.5

図2 経営耕地面積規模別経営体数の構成比



(注) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

3 総農家数

総農家数は6,253戸で、前回調査に比べ18.6%減少しました。

このうち販売農家数は1,316戸、自給的農家は4,937戸となり、前回に比べそれぞれ27.6%、15.8%減少しました。

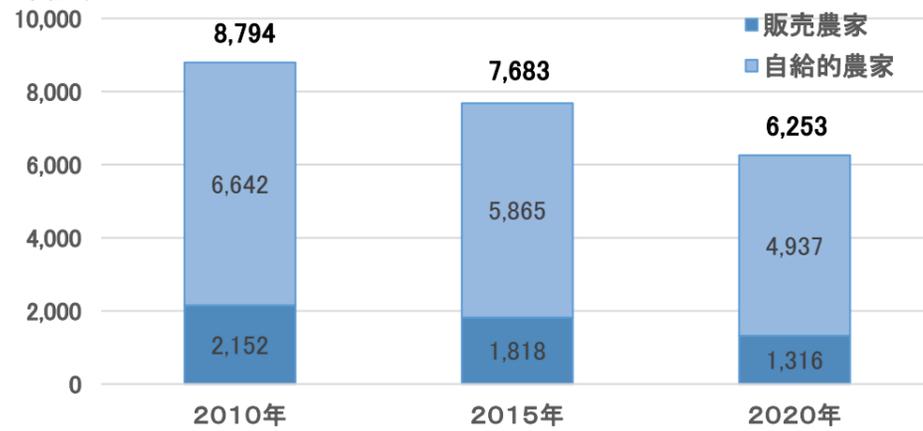
表3 総農家数

単位：戸、%

区分		総農家数	販売農家数	自給的農家数
実数	2010年	8,794	2,152	6,642
	2015年	7,683	1,818	5,865
	2020年	6,253	1,316	4,937
増減率	前回比	△ 18.6	△ 27.6	△ 15.8
	前々回比	△ 28.9	△ 38.8	△ 25.7

単位：戸

図3 総農家数の推移



4 林業経営体

保有山林面積規模別林業経営体数

林業経営体数は21経営体で、前回調査に比べ46.2%減少しました。

保有山林面積規模別にみると、「5ha未満」の経営体が9経営体で最も多く、構成比は42.9%となっています。

林業経営体は減少傾向にあり「5～10ha」「10～20ha」「50ha以上」が大幅に減少しています。

表4 保有山林規模別林業経営体数

単位：経営体、ha、%

区分		計	5ha未満	5～10ha	10～20ha	20～50ha	50ha以上
実数	2010年	52	20	17	7	3	5
	2015年	39	10	10	5	3	11
	2020年	21	9	4	1	4	3
増減率	前回比	△ 46.2	△ 10.0	△ 60.0	△ 80.0	33.3	△ 72.7
	前々回比	△ 59.6	△ 55.0	△ 76.5	△ 85.7	33.3	△ 40.0

図4 保有山林規模別林業経営体数の構成比

